



# 42 郷愁とぬくもりのともしび

新潟市では、石油と天然ガスは古くから産業を支えるエネルギー源として経済に大きなかわりを持ち、地域の発展に寄与してきた。

「郷愁とぬくもりのともしび」は、石油と天然ガスのこうした歴史を背景に、シンボル化されたもので、民間企業・団体が母体となって結成された「新潟市に瓦斯灯を設置する会」と新潟市が一体とな

って行った事業である。

ガス灯は、新潟市の玄関口であるJR新潟駅前広場から国道七号線を結ぶ主要地方道新潟停車場線の両側に二十二基設置された。

設置後は、新潟市のイメージを生かした景観づくりの役割を果たすとともに、ガス灯のもつ優しい灯が市民や来訪者に郷愁とぬくもりを与えている。

## DATA・BOARD 42



- ①新潟県新潟市東大通1丁目
- ②灯式ガス灯22基
- ④支柱：アルミ合金鋳物、灯具：銅板加工・強化ガラス